

令和4年度事業報告

令和4年度においては、令和3年度第3回理事会で承認され、第105回総会に報告した事業計画及び収支予算に基づき、農事功績者の表彰、講演会・セミナーの開催、農業及び農村に関する調査研究、奨学金の貸与、会誌「農業」の刊行による情報普及等の事業を次のとおり実施した。なお、実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の状況等に応じて、オンライン方式を活用するなど柔軟に対応した。また、三会堂ビルの建替えに伴う事務所移転及び諸手続きを行った。

1 農事功績者表彰事業

(1) 令和4年度（第106回）農事功績者表彰

1) 推薦

令和4年6月1日、都道府県知事、(一社)全国農業改良普及支援協会会長ほか関係団体の長、国内及び北米南加の各支会会長に対して表彰候補者の推薦を依頼した。

これらに対して、都道府県知事から農事功績候補者49名（紫白綬有功章1名、緑白綬有功章48名）、北米南加支会会長から農事功績候補者2名（緑白綬有功章2名）、(一社)全国農業改良普及支援協会会長から農業改良普及功績候補者4名（緑白綬有功章）、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会理事長から農業技術開発功績候補者1名及び1グループ（緑白綬有功章）のほか、本会功績候補者として本会会長から3名（紫白綬有功章1名、紅白綬有功章2名）合計60名の推薦があった。

2) 選考経過

- ① 令和4年9月15日、農事功績表彰者審査委員会を開催し、推薦のあった60名（紫白綬有功章2名、緑白綬有功章56名（名誉賞状1グループを含む。）、紅白綬有功章2名）を令和4年度農事功績表彰候補者として内定した。
- ② 10月11日、第3回理事会を開催し、農事功績者表彰審査委員会の審査結果を報告し、審査委員会で内定した60名を農事功績表彰者として決定した。
- ③ 11月2日、吉田会長が総裁秋篠宮邸に赴き、表彰者決定までの経過、表彰者及び表彰理由等について、総裁秋篠宮皇嗣殿下にご高覧いただいた。

3) 表彰式の挙行

11月17日11時から、赤坂インターシティAIR「theAIR」において、総裁秋篠宮皇嗣殿下ご来臨の下、藤木眞也農林水産大臣政務官などの来賓のご臨席をいただき、令和4年度（第106回）農事功績者表彰式を挙行し、上記60名に対して総裁殿下から表彰状及び章賞が親授された。

式典終了後、記念写真の撮影を行い、次いで、部門別に集まった受章者グループに総裁殿下からお声がけいただいた。

4) 会誌「農業」臨時増刊号の作成・配布

推薦事由調書をもとに、農事功績表彰受章者の功績をとりまとめ、会誌「農業」の臨時増刊号として刊行し、受章者及び関係者に配布した。

(2) 令和2年度及び3年度農事功績表彰者受章祝賀式典の実施

令和4年7月19日11時から、赤坂インターシティAIR「the AIR」において、総裁秋篠宮皇嗣殿下ご来臨の下、令和2年度及び3年度農事功績表彰者受章祝賀式典を挙行し、式典終了後、記念写真の撮影を行った。

(3) 総裁秋篠宮皇嗣殿下の農事功績表彰農家のご訪問

本会総裁秋篠宮皇嗣殿下におかれては、令和4年10月24日、山梨県下を訪問され、令和2年度に緑白綬有功章（畜産部門）を受章した甲府市の加藤政彦氏と紫白綬有功章（花き部門）を受章した中央市の内田傳氏の農業経営状況をご視察になられた。併せて山梨県果樹試験場をご視察になられた。

2 講演会・セミナー事業

(1) 中央農事講演会の開催

（一財）農林水産奨励会との共催による中央農事講演会を次のとおり開催した。

1) 春期中央農事講演会

演 題：我が国の食料安全保障を考える

開催日：令和4年6月16日

場 所：三会堂ビル石垣記念ホール及びオンライン会議方式併用

講 師：柴田 明夫（株式会社資源・食糧問題研究所代表取締役）

出席者：約80名

結果の公表：会誌「農業」 令和4年9月号

2) 秋期中央農事講演会

演 題：「みどりの食料システム戦略」の展開について

開催日：令和4年10月31日

場 所：三会堂ビル石垣記念ホール及びオンライン会議方式併用

講 師：岩間 浩（農林水産省大臣官房審議官（技術・環境））

出席者：約70名

結果の公表：会誌「農業」 令和5年4月号予定

(2) 農業懇話会の開催

（一財）農林水産奨励会との共催による農業懇話会を次のとおり開催した。

1) 第1回

話 題：農業分野における外国人労働者の受入れ動向と課題

開催日：令和4年5月20日

場 所：三会堂ビルA会議室及びオンライン会議方式併用

講 師：宮入 隆（北海学園大学経済学部教授）

出席者：約60名

結果の公表：会誌「農業」 令和4年9月号

2) 第2回

話 題：「令和3年度食料・農業・農村白書」について

開催日：令和4年6月30日

場 所：三会堂ビルA会議室及びオンライン会議方式併用

講 師：江川 和隆（農林水産省大臣官房広報評価課情報分析室企画官）

出席者：約100名

結果の公表：会誌「農業」 令和4年11月号

3) 第3回

話 題：人財育成・研究開発型の農業カンパニー 浅井農園の取組みについて

開催日：令和4年8月4日

場 所：三会堂ビル石垣記念ホール及びオンライン会議方式併用

講 師：浅井 雄一郎（株式会社浅井農園代表取締役）

出席者：約70名

結果の公表：会誌「農業」 令和5年1月号

4) 第4回

話 題：山形大学が取り組む庄内スマート・テロワール構想

開催日：令和4年9月30日

場 所：三会堂ビルA会議室及びオンライン会議方式併用

講 師：浦川 修司（山形大学農学部教授）

出席者：約50名

結果の公表：会誌「農業」 令和5年3月号

5) 第5回

話 題：農業分野のデータの連携・活用について

開催日：令和5年1月23日

場 所：TKP新橋カンファレンスセンター及びオンライン会議方式併用

講 師：上原 健一（農林水産省大臣官房政策課技術政策室室長）

出席者：約70名

結果の公表：会誌「農業」 令和5年6月号予定

6) 第6回

話 題：これからの地域社会・農業のための獣害対策について

開催日：令和5年3月14日

場 所：TKP新橋カンファレンスセンター及びオンライン会議方式併用

講 師：山端 直人（兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授）

出席者：約80名

結果の公表：会誌「農業」 令和5年8月号予定

(3) 地域セミナーの開催

1) 秋田支会との共催

令和4年9月3日、秋田支会設立10周年記念式典に併せて、記念講演会を秋田市で開催した。

2) 栃木支会との共催

令和5年1月26日に令和4年度緑白綬有功章受章祝賀会に併せて、地域セミナーを宇都宮市で開催した。

3 調査研究事業

(1) 研究会の開催

将来の世界の食料の需給を見通しには不安定な要素が多いものの、特にタンパク質については、SDGsの取組推進や動物倫理・福祉に対する関心の高まり、さらには菜食主義者増加等から、これまで畜産物がタンパク質摂取の中心であったものから多様化することが考えられ、我が国でも大豆ミートなどが実用化されている。

このような状況を踏まえて、現在の食用タンパク質の需要実態、種類ごとの課題等を整理し、今後の見通し等を展望するため、昨年度に引き続き「食用タンパク質研究会」を開催し検討を行った。

なお、研究会の検討内容を「大日本農会叢書」としてとりまとめ、令和5年4月に刊行することを予定している。

研究会委員等（敬称略・五十音順）

座長：林 良博（独）国立科学博物館顧問、農芸委員長

委員：石川 伸一 宮城大学食産業学群教授

大谷 敏郎（公財）日本植物調節剤研究協会理事長、農芸委員

春見 隆文 元日本大学教授、農芸委員

佐本 将彦 茨城大学客員教授、不二製油グループ本社（株）未来創造研究所

オブザーバー：

古在 豊樹 千葉大学名誉教授、農芸委員

腰岡 政二（一財）日本花普及センター理事、農芸委員

西藤 久三 元農林水産省食料産業局長、農芸委員

諸岡 慶昇 高知大学名誉教授、農芸委員

第7回 4月18日 「食肉3.0代替タンパク質としての培養肉の可能性と課題について」

第8回 5月17日 「おいしい食感のデザイン法～ターゲットとした「動物性食品らしいおいしい食感」をどのようにプラントベースフード(plant-based food)で実現するか?～」

第9回 6月13日 「これまでの議論のポイントと中間とりまとめ」

第10回 7月21日 「消費者の新食品の受容とリスク認識」

第11回 9月15日 「これまでの議論のポイントととりまとめの方向」

第12回 10月12日 「これまでの議論のポイントととりまとめの方向」

第13回 11月11日「新規タンパク質食品の受容について」

第14回 12月7日 「これまでの議論のとりまとめ」

(2) 農事功績者を囲む座談会の開催

令和3年度緑白綬有功章受章農家の経営の発展経過等を話題に、受章者、技術・経営・流通・行政等の専門家及び現地指導者による座談会を開催した。

1) 農産部門

期 日：令和4年6月28日

場 所：本会会議室

出席者：（敬称略・順不同）

（受章農家）

井関 義次（大阪府池田市）

（大阪府関係者）

溝淵 直樹（大阪府環境農林水産部農政室推進課参事）

（学識経験者）

佐々木昭博（座長、東京農業大学参与・客員教授、農芸委員）

西川 孝一（（公財）日本特産農作物種苗協会理事長、農芸委員）

八巻 正（元農研機構理事）

東野 昭浩（農林水産省農産局穀物課長）

（本会）吉田会長、西郷副会長ほか

結果の公表：会誌「農業」 令和4年12月号

2) 野菜部門

期 日：令和4年9月13日

場 所：本会会議室

出席者：（敬称略・順不同）

（受章農家）

馬場 敏明（東京都日の出町）

（現地指導者）

山岸 明（西多摩農業改良普及センター主任普及指導員）

（学識経験者）

望月 龍也（座長、東京都農林総合研究センター研究開発アドバイザー、農芸委員）

納口るり子（筑波大学名誉教授、農芸委員）

内倉 浩支（秋川農業協同組合地域振興部地域振興課長）

今野 聡（農林水産省農産局園芸作物課長）

（本会）吉田会長、西郷副会長ほか

結果の公表：会誌「農業」 令和5年3月号

3) 複合部門

期 日：令和4年10月26日

場 所：本会会議室

出席者：（敬称略・順不同）

(受章農家)

藤本 勲 (広島県庄原市)

(現地指導者)

清水健太郎 (広島県北部農業技術指導所主査)

(学識経験者)

林 良博 (座長、(独)国立科学博物館顧問、理事・農芸委員長)

寺島 一男 ((株)クボタ研究開発統括部顧問、元農研機構理事兼中央
農業総合研究センター所長、農芸委員)

本郷 秀毅 ((一財)日本乳業協会常務理事、農芸委員)

本宮 裕貴 (農林水産省農産局穀物課課長補佐 (稲生産班))

(本会) 吉田会長、西郷副会長ほか

結果の公表：会誌「農業」 令和5年5月号予定

4) 花き部門

期 日：令和4年11月25日

場 所：本会会議室

出席者：(敬称略・順不同)

(受章農家)

清都 和文 (富山県高岡市)

(現地指導者)

辻 俊明 (富山県高岡農林振興センター副主幹普及指導員)

今井 徹 (富山県農林水産総合技術センター園芸研究所副所長)

(学識経験者)

腰岡 政二 (座長、(一財)日本花普及センター理事、農芸委員)

柴田 道夫 (東京大学名誉教授、農芸委員)

小宮 英稔 (農林水産省農産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室
長)

(本会) 吉田会長、西郷副会長ほか

結果の公表：会誌「農業」 令和5年6月号予定

5) 果樹部門

期 日：令和5年2月13日

場 所：役員会議室

出席者：(敬称略・順不同)

(受章農家)

北田 晴男・富士子 (岩手県盛岡市)

(現地指導者)

高橋 好範 (盛岡農業改良普及センター所長)

(学識経験者)

福元 将志 (座長、元農研機構理事・果樹研究所所長、農芸委員)

高梨 祐明 (元農研機構果樹茶業研究部門部門長、(一社)日本植物防
疫協会信頼性保証室技術顧問)

徳田 博美 (名古屋大学大学院生命農学研究科教授)

仙波 徹（農林水産省農産局果樹・茶グループ長）
（本会）吉田会長、西郷副会長ほか
結果の公表：会誌「農業」 令和5年7月号予定

(3) 表彰農家訪問調査の実施

令和3年度に表彰された農家の技術、経営内容等を広く紹介することを目的に次のとおり実施した。（敬称略）

1) 農産部門

期 日：令和4年6月20日～21日
訪問農家：岩出 明喜（岐阜県郡上市、水稲専作経営）
訪 問 者：小巻 克巳（前福島県農業研究センター所長、農芸委員）
別所 英男（本会）
結果の公表：会誌「農業」 令和4年10月号

2) 花き部門

期 日：令和4年8月29日～30日
訪問農家：中園 英治（福岡県八女市、電照ギク専作経営）
訪 問 者：腰岡 政二（(一財)日本花普及センター理事、農芸委員）
渡辺 且之（本会）
結果の公表：会誌「農業」 令和5年2月号

3) 複合部門

期 日：令和4年9月21日～22日
訪問農家：山口 幹男（兵庫県姫路市、苗物・露地野菜作複合経営）
訪 問 者：八巻 正（元農研機構理事）
別所 英男（本会）
結果の公表：会誌「農業」 令和5年4月号予定

4) 果樹部門

期 日：令和4年11月7日～8日
訪問農家：吉田 哲士（香川県三豊市、カンキツ・ビワ作経営）
訪 問 者：長谷川美典（元農研機構理事・果樹研究所所長）
片山 信浩（本会）
結果の公表：会誌「農業」 令和5年5月号予定

5) 野菜部門

期 日：令和5年3月22日～23日
訪問農家：茂美 良行・美代子（徳島県板野町、ニンジン専作経営）
訪 問 者：望月 龍也（東京都農林総合研究センター研究開発アドバイザー、
農芸委員）
片山 信浩（本会）
結果の公表：会誌「農業」 令和5年7月号予定

- (4) 全国農業青年クラブ連絡協議会・全国指導農業士連絡協議会との連携
全国農業青年クラブ連絡協議会及び全国指導農業士連絡協議会の活動を支援するとともに、その過程で得られた情報を今後の本会の活動に活かすため、下記の会議の開催を支援した。

1) 全国農業青年クラブ連絡協議会

- ① 令和4年度通常総会・第1回日本4Hクラブ会長会議
開催日：令和4年6月28日
オンライン開催
- ② 第61回全国青年農業者会議
開催日：令和5年3月2日～3日
場 所：江戸川区総合文化センター

2) 全国指導農業士連絡協議会

- ① 第1回役員会及び農林水産省経営局幹部との意見交換会
開催日：令和4年6月24日
場 所：農林水産省共用第1会議室
- ② 第2回役員会及び農林水産省経営局幹部との意見交換会
開催日：令和4年9月30日
場 所：農林水産省共用第2会議室
- ③ 第3回役員会及び農林水産省経営局幹部との意見交換会
開催日：令和4年12月7日
場 所：農林水産省共用第2会議室
- ④ 第44回指導農業士全国研究会・総会
開催日：令和5年1月24日～25日
場 所：千代田区内幸町ホール

4 奨学金貸与事業

奨学金制度により、東京農業大学学長から推薦のあった農学部学生3名に対し、令和4年6月に奨学金を貸与した。

また、日本農業経営大学校校長から推薦のあった学生5名に対し、令和4年12月に奨学金を貸与した。

5 情報普及事業

- (1) 本会の各種事業の内容を随時掲載するとともに、その時々に関心事項についての寄稿、最新の農政情報などを掲載する会誌「農業」については、毎月の定期的刊行（約2,600部）に加えて、12月に農事功績表彰受賞者の功績をとりまとめた臨時増刊号を刊行し、会員等に配布するとともに、国、都道府県、研究機関、普及組織、農業団体、大学農学部、農業大学校、県立図書館等に贈呈した。

- (2) 会誌「農業」の内容の充実を図るため、令和4年4月19日に第1回編集委員会を、10月7日に第2回編集委員会を本会会議室において開催し、既刊の「農業」の評価及び今後の編集方針、記事の内容・構成等について検討を行った。

編集委員（敬称略・五十音順）

小川 奎 元(公財)日本植物調節剤研究協会顧問
新部 昭夫 東京農業大学名誉教授
矢野 哲男 (一財)いも類振興会理事長
和栗 好邦 元日本農業新聞常勤監査役

(本会)吉田会長、小栗副会長(第1回)、西郷副会長(第2回)ほか

(3) 食用タンパク質研究会の成果について、「大日本農会叢書」として取りまとめ刊行するため、必要な編集作業やISBNの取得等を行った。

(4) 既刊の会誌「農業」(令和2年1月号～12月号)について、会誌「農業」データベースに追加し、掲載記事を本会のホームページから検索できるようにした。また、平成25年～令和4年までの会誌「農業」及び「大日本農会叢書」1～9について、製本する等保存用に整備した。

(5) 本会ホームページをリニューアルするとともに、随時掲載情報を更新した。

6 農事奨励事業 その他

(1) (一財)農林水産奨励会との土地賃貸借契約に基づき、その有効利用を通じて安定的な運用益収入及び交付金を確保した。

三会堂ビルの建替えに関する諸手続きを円滑に進めるため、(一社)大日本水産会、(公社)大日本山林会及び(一財)農林水産奨励会等と随時打合せを行った。

令和5年度に三会堂ビルが解体されることから、令和4年12月19日に事務所を三会堂ビルから日土地内幸町ビル(千代田区内幸町1丁目2-1)に移した。これに伴い、定款及び登記事項の事務所の場所を変更し、内閣府に変更届を提出した。

1) (一財)農林水産奨励会の理事会・評議員会の開催

- ① 令和4年6月7日 令和4年度第1回通常理事会
- ② 令和4年6月29日 令和4年度定時評議員会
- ③ 令和5年3月20日 令和4年度第2回通常理事会

2) (一財)農林水産奨励会の常務役員会の開催

定例的に開催され、三会堂ビルの管理運営等重要事項を審議。

(2) 岩手支会、秋田支会、山形支会、栃木支会、新潟支会及び熊本支会から提出された事業計画及び収支予算を踏まえ、助成金を交付した。

なお、各支会の総会の開催状況は以下のとおり。

- 1) 北海道支会：コロナウイルス感染症対策のため開催見送り。
- 2) 岩手支会：令和4年度内の開催なし。
- 3) 秋田支会：令和5年2月16日(木) 吉田会長出席
- 4) 山形支会：令和5年3月7日(火) 吉田会長メッセージ送付
- 5) 栃木支会：令和5年3月20日(月)
- 6) 新潟支会：令和4年10月11日(火)
- 7) 熊本支会：令和4年12月2日(金)

(3) 東京農業大学関係

東京農業大学の令和4年度入学式については中止となった。卒業式については、吉田会長（厚木キャンパス及びオホーツクキャンパス）及び西郷副会長（世田谷キャンパス）が出席し、卒業論文等成績優秀な学生23名に対して、大日本農会賞を授与した。

「食と農」の博物館の協力を得て三会堂ビルロビーにおいて展示していた「足踏み脱穀機」（昭和44年蒐集）については、事務所移転に伴い12月16日に返却した。

(4) 伊勢神宮関係

令和4年4月2日、伊勢神宮神田祭場において執り行われた「下種祭」に別所編集部長が、また、9月2日、同祭場で執り行われた「抜穂祭」に西郷副会長が参列した。

(5) 慶弔関係

令和4年度春の叙勲において、農芸委員の佐々木昭博氏が瑞宝中綬章、監事の木下良智氏が瑞宝小綬章の栄に浴されたので、本会において祝意を表した。

本会の名誉会員の小崎格氏及び石原邦氏が逝去され、本会として弔意を表した。

7 会務の報告

(1) 定時総会

令和4年5月24日13時30分から三会堂ビル石垣記念ホールにおいて、第105回総会（令和4年度定時総会）を開催し、次の議案を提案・報告し、審議の後それぞれ承認議決された。

- 第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算に関する件
- 第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算に関する件
- 第3号議案 役員を選任に関する件
- 第4号議案 定款の一部変更に関する件
- 第5号議案 その他

(2) 理事会

1) 第1回理事会

令和4年4月22日、令和4年度第1回理事会を開催し、次の議案について承認議決された。

- 第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算に関する件
- 第2号議案 祝賀式典準備資金の積立に関する件
- 第3号議案 役員を選任に関する件
- 第4号議案 大日本農会正会員の入会の承認に関する件
- 第5号議案 定款の一部変更に関する件
- 第6号議案 公益社団法人大日本農会事務局組織規程の一部改正に関する件
- 第7号議案 公益社団法人大日本農会事務局就業規則の一部改正に関する件
- 第8号議案 第105回総会（令和3年度定時総会）の開催に関する件

第9号議案 その他

2) 第2回理事会

令和4年5月24日、令和4年度第2回理事会を開催し、次の議案について承認議決された。

- 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定に関する件
- 第2号議案 会長及び副会長兼常務理事の報酬に関する件
- 第3号議案 顧問の委嘱に関する件
- 第4号議案 名誉会員の推薦に関する件
- 第5号議案 重要な職員の任免に関する件
- 第6号議案 農芸委員の委嘱に関する件
- 第7号議案 大日本農会正会員の入会の承認に関する件
- 第8号議案 その他

3) 第3回理事会

令和4年10月11日、令和4年度第3回理事会を開催し、次の議案について承認議決された。

- 第1号議案 令和4年度農事功績表彰者の決定に関する件
- 第2号議案 令和4年度上半期事業報告及び収支予算執行状況に関する件
- 第3号議案 事務所の移転日の決定に関する件
- 第4号議案 大日本農会正会員の入会の承認に関する件
- 第5号議案 その他

4) 第4回理事会

令和5年3月24日、令和4年度第4回理事会を開催し、次の議案について承認議決された。

- 第1号議案 令和5年度事業計画及び収支予算に関する件
- 第2号議案 令和4年度下半期事業報告及び収支予算執行状況に関する件
- 第3号議案 その他

(3) 事業監査

令和4年4月18日、令和3年度事業報告、収支決算等について、木下良智監事及び福盛田共義監事による監事監査が書面により実施され、適正と認められた。

(4) 内閣府法人検査

令和5年1月27日、内閣府による公益法人認定法に基づく立入検査があり、特段の指摘事項はなかった。

(5) 定例会

毎週定時に定例会を開催し、当面の業務計画等の案件を討議した。新型コロナウイルス感染症対策として、テレワークの推進や、基本的な感染防止対策の徹底を継続して行った。

事業報告の附属明細書

該当なし

(参考)

本会の構成

令和5年3月31日現在

総裁・顧問・役員等

総裁		
顧問		5名
理事		14名
	会長	1名
	副会長	1名
	副会長兼常務理事	1名
監事		2名
事務局		8名

会員

名誉会員		14名
正会員	(団体30、個人180名)	210名
賛助会員		1,105名
	(団体8、個人534名、学生513名、国外50名)	

公益社団法人大日本農会役員等

(令和5年3月31日現在・敬称略)

総裁	秋篠宮皇嗣殿下		
会長	吉田 岳志	顧問	亀若 誠
副会長	江口 文陽		進士五十八
副会長兼常務理事	西郷 正道		五月女昌巳
理事	岩淵 至正		合瀬 宏毅
	大杉 立		栗田幸太郎
	生源寺眞一		馬場 正
	林 良博		林田 直樹
	松尾 元		三輪睿太郎
	山本 祐司		
監事	木下 良智		福盛田共義